

(様式 2)

令和6年度佐賀大学戦略的PSプロジェクト報告書

令和 7 年 3 月 3 1 日

国際交流推進センター長 殿

申 請 者 (代表申請者)

部 局 名 理工学部

職 名 教授

氏 名 佐藤 和也

下記のとおり報告します。

1. 大学間交流協定校 (国・地域)	主連携大学：ハサヌディン大学 (UNHAS 南スラウェシ州) 連携大学：タドゥラコ大学 (UNTAD 中部スラウェシ州) サムラトランギ大学 (UNSRAT 北スラウェシ州) ランブンマンクラット大学 (UNLAM 南カリマンタン州) 東カリマンタン工科大学 (KIT 東カリマンタン州) スラバヤ工科大学 (ITS・東ジャワ州)		
2. 種別	A国際共同研究型		B国際共同教育型
3. 実施代表者	三島 悠一郎	4. 所属・職名	理工学部・講師
5. 連携部局	理工学部		
6. 国際共同 (教育) 研究 課題	教育／研究テーマ： <u>スマートLOWLANDによる持続可能な社会基盤 構築に資する国際人材育成 (理工学国際教育研究コンソーシアムの 設立)</u>		
7. 令和6年度の実施内容	・「国際活動参加への予備プログラム」の開催 ・ハサヌディン大学での短期インターンシッププログラム(派遣) ・教員の訪問による佐賀大学の宣伝、研究打ち合わせ、サンドイッチ プログラムに関する協議 (ハサヌディン大学) ・国際セミナーの開催 (Frontier of Civil Engineering Technology in ASIA & ASIAN Collaborative Seminar Program) ・サンドイッチプログラム設立に関する準備 ・外部資金調達のための申請		
8.参加者数 ※参加者名簿も併せてご 記入ください	参加者数 113 (派遣：12、セミナー101) 名 内、教員・研究者数 26 名、学生数 87 名 ※重複参加あり		

9. 事業を通じて得られた
成果及び今後の計画

※事業実施の様子について、
写真を3枚程度提供
ください

【成果】

本プロジェクトではハサヌディン大学との間でのサンドイッチプログラムによって、表題に掲げた人材を育成することを目標としている。また、教育型のプロジェクトではあるものの、その推進においては研究教育協働活動のコンセプトに基づいた、国際的な連携研究も実施される。現在の活動は「日本人学生の派遣」と「教育プログラムの開設」を中心としたものである。

【成果1】「国際活動参加への予備プログラム」の開催

都市工学部門の学生を対象として、英語による発話訓練（スピーチ&ディスカッション）を下記の通り開催した。PDのDr.Sindete Matiro Jose（日野研究室）が英語指導を補助した。

前期：5回（6月20日、27日、7月4日、11日、18日）

後期：6回（10月28日、11月5日、12日、26日、1月中に2回）

参加：11名

参加学生へのヒアリングでは、英語に対する苦手意識は薄れてきたとのことで、学生の意識改善という形で成果が得られた。次年度はハサヌディン大学への短期派遣に繋げ、参加者拡大にも努める。

【成果2】 UNHASでの短期インターンシッププログラム(派遣)

9月16日(月)～20日(金)にハサヌディン大学を訪問し、研修を実施した。都市工学部門からの学生5名、教員2名に加え、STEPs（理工学部の学生団体）のメンバー4名ならびに機械システム部門のDr. Khanも参加し、計12名が交流拡大のためにハサヌディン大学工学部の各学科を訪問、セミナーに参加した。

September, 2024

	16 (Mon)	17 (Tue)	18 (Wed)	19 (Thu)	20 (Fri)	
10:00	Field visit in Makassar (Damsite, City area, Rosali beach, reclamation area)	Research Workshop by reserchers	Laboratory visit	Workshop Group discussion by students	Final presentation by students group	10:00
11:00						11:00
12:00		12:00-13:30 Lunch Break			Introduction of Saga University and Closing	12:00
13:00						13:00
13:30		Research Workshop by reserchers	Laboratory visit	Workshop Group discussion by students		13:30
14:00						14:00
15:00						15:00

【成果3】 教員の訪問による佐賀大学の宣伝、研究打ち合わせ、サンドイッチプログラムに関する協議（UNHAS、UNTAD）

都市工学部門の押川教授はUNHASならびにUNTADを訪問し、連

携教員との研究地合わせ、国際シンポジウムでの特別講演、現地学生への佐賀大学の宣伝、セミナーでの講義を実施した。また、ハサヌディン大学タマランリアキャンパスの近隣にあるムハンマド大学マカッサルにおいて国際ゲスト講義プログラムにて特別講演を実施した。

三島はセミナーの運営ならびに講義の提供、理工学部のプロモーション、さらに関連教員とともにサンドイッチプログラムの説明ならびに協議を行った。

カーン准教授はハサヌディン大学工学部の機械科を訪問し、講義、理工学部のプロモーション、サンドイッチプログラムの説明、そして連携教員との交流計画について協議が行われた。

【成果4】国際セミナーの開催（Frontier of Civil Engineering Technology in ASIA & ASIAN Collaborative Seminar Program）

2025年3月10日(月)～14日(金)の予定で、戦略的PSならびに理工学部国際パートナーシップ教育プログラムの活動として、国際セミナーを開催した。ハイブリッド形式で、対面会場にはマレーシアのUTHMと本学の学生が参加した。オンライン会場ではハサヌディン大学を始め、サムラトランギ大学、タドゥラコ大学、ランブンマンクラット大学からの参加者があった。

理工学部都市工学部門の教員9名が講義を提供し、UTHMからは3名、ハサヌディン大学からは2名の教員が講義を提供した。都市工学部門のほぼ全教員が講義を提供しており、教育だけでなく研究内容を発信できるプログラムとして今後も継続開催を企図する。

【成果5】サンドイッチプログラム設立に関する準備

2024年9月におけるUNHAS訪問でのサンドイッチプログラムに関する協議を皮切りとして、本年度は学内での手続きを進めた。同じくサンドイッチプログラム開設を進める小島教授、三島教授と連携して、プログラムの説明に始まり、協定書案、申し合わせ案、サンドイッチプログラム修了証案を作成した。関連事項は教務委員会で審議されている。

11. 他の外部資金等への 申請状況	JASSO 2025年度JASSO海外留学支援制度（協定派遣） 採択
12. 実施者アンケート	
本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））： 5 支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））： 5 次年度以降も本事業の実施を希望するか：希望する そのほかコメント：	

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。（Word 貼付けとは別に）



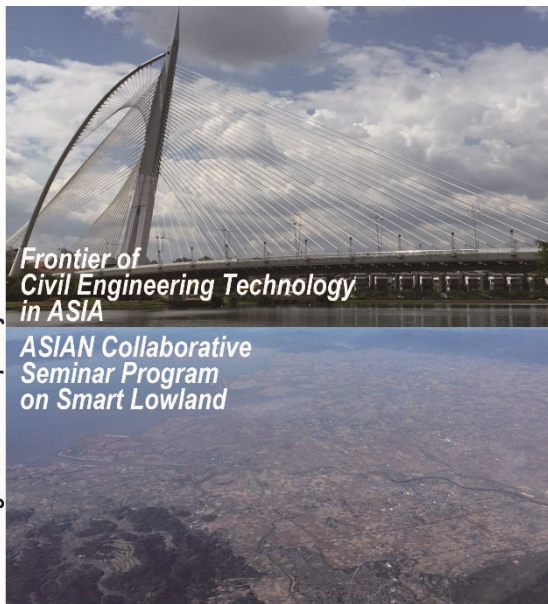
UNTAD 訪問時に参加したセミナーの集合写真



パル市における現場見学の様子



セミナーにおける特別講義の様子



DATE : 10 -14 MARCH **VENUE:** Room SE-3, Saga University & Zoom

	[DAY 1] 10 MARCH (MON)	[DAY 2] 12 MARCH (WED)	[DAY 3] 13 MARCH (THU)	[DAY 4] 14 MARCH (FRI)
8:50-10:20		Dr. Nizam Muhammad Nizam Zakaria (Saga University)		Prof. OGUSHI Koichiro (Saga University)
10:30-12:00	12:45-Opening	Prof. Mohd Hasiman Wan Ibrahim (Universiti Tun Hussein Onn Malaysia)	Prof. Tri Harianto (Hasanuddin University)	Dr. INOUE Takuro (Saga University)
13:00-14:30	Prof. OBIYA Hiroyuki (Saga University)	Dr. Mohd Shalahuddin Adnan (Universiti Tun Hussein Onn Malaysia)	Prof. HINO Takesori (Saga University)	Dr. Narumon Vongphanasanthorn (Saga University)
14:40-16:10	Prof. ITO Yukihiko (Saga University)	Prof. Mohd Irwan Juki (Universiti Tun Hussein Onn Malaysia)	Dr. Muhammad Akbar Waleena (Hasanuddin University)	Dr. MISHIMA Yuichiro (Saga University)
16:20-17:30	Prof. OSHIKAWA Hideo (Saga University)			Closing

Topics:

- Structural Engineering
- Construction Material
- Hydraulics/ Hydrology
- Water Environment
- Geotechnical Engineering
- Urban Planning



Registration

国際セミナーのフライヤー